

市民マラソンにAED25台

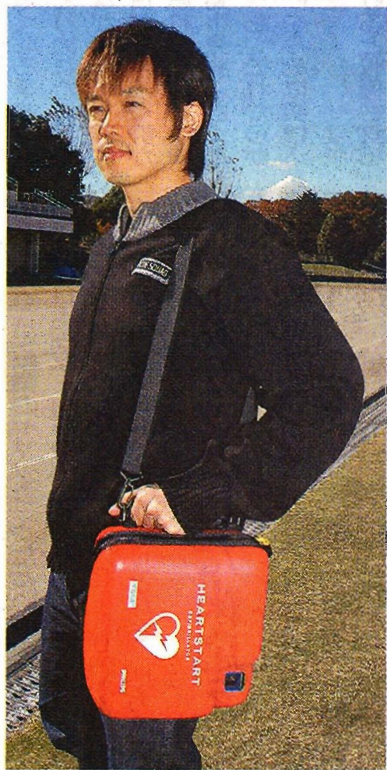
ランナーへ「安心」待機

愛知県豊川市で十九日に開かれる「トヨカワシティマラソン」で、心臓病による突然死を防ぐ自動体外式除細動器（AED）二十五台が用意され、救命ボランティアが待機する。日本陸上競技連盟（東京都）は「大会で二十五台をそろえるなんて聞いたことがない」と注目している。

19日開催、豊川の大会

万が一に備えることも 生看護科専攻科の五人や、AEDの必要性を知 消防職員、医師ら計二十器病院の協力で、すべてそろえた。

消防署東分署救急救命士 一人が一台ずつを持つ 日本陸連によると、競走の木内史典さん（三）が呼んで最長十キロのコースの二技マラソンでは数台程度び掛けた。ボランティア 百一六百ほどに待機。のAEDを配備するが、として地元の宝陵高校衛 全員使い方を学んでお 二十台以上使うことはな



救命ボランティアを呼び掛けた木内史典さん。本番では23人が選手たちの命を守る。愛知県豊川市陸上競技場

「聞いたことない」陸連も注目

い。今年三月、三重県桑名市の市民マラソンで男性（三）がゴール直後に死亡するなど、若年層を含めた突然死が増えている。雑誌ランナーズ編集部（東京都）は「市民大会でも二十台以上使うのは聞いたことがない。参加者が安心して走れ、望ましい」と思っている。木内さんは「今回の活動でAEDに対する関心が高まり、使いこなせる人が増えてほしい」と期待している。



AED（自動体外式除細動器） 心臓

に電気ショックを与え、脈動を正常に戻す機器。突然の心停止に有効で、心室が小刻みに震えて全身に血液を送れなくなる「心室細動」の場合、5分以内で使用すれば半数が救命可能とされる。